



出前トーク やっています

問い合わせ プロモーション戦略課 ☎09121

出前トークは、市職員が市民団体（※）のもとに出向き、市の施策や事業を説明するものです。市民団体の皆さんと意見交換（対話）を行い、協働のまちづくりを進めることを目的としています。

※市民を主たる構成員として市内でまちづくりに取り組む団体またはグループ

【申し込み上の注意点】

- とき** 原則、月～金曜日（祝・休日を除く）の9時～21時の間で、1回につき90分以内。
- ところ** 市内。会場の確保、設営およびそれらの経費は市民団体で負担してください。
- 対象** 市民団体などが市内で開催し、10人以上が参加する集会、または学習会（政治、宗教、営利を目的とするものを除く）。



▲出前トーク
テーマ表



▲動画一覧

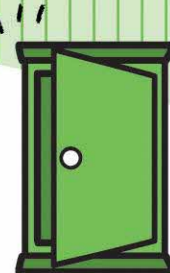
出前トークは
一部YouTubeでも
公開していますので、
ぜひ視聴して
ください

申込方法 出前トークテーマ表から希望するテーマを選び、市ホームページの申込書に必要事項を記入し、開催日1カ月前までにプロモーション戦略課まで持参、郵送（〒738-8501 廿日市市プロモーション戦略課）、FAX ☎1059、メール promotion@city.hatsukaichi.lg.jpのいずれかで。



国際交流・多文化共生の扉

問い合わせ 国際交流・多文化共生室 ☎0201



姉妹都市交流から生まれた 芸術交流

廿日市市と姉妹都市ニュージーランド・マスタートンとの交流をきっかけに知り合った2人の芸術家の交流が続いていることを知っていますか。

4月11日から5月6日まで、はつかいち美術ギャラリーで姉妹都市交流事業及び戦後80年非核平和事業「ふたつの世界」展を開催しました。これまでの姉妹都市交流を振り返る展示とともに、ニュージーランドの国民的芸術家のロビン・ホワイトさんと廿日市市在住の書道家の小川妙子さんの作品を展示しました。

平成30年にロビンさんがマスタートンの学生と一緒に廿日市市に来たときに小川さんと出会い、意気投合し、共同作品を創作するなど芸術を通じて交流を続けています。

「ふたつの世界」展のオープニングでは、ロビンさんが持参した「マシ」と呼ばれる樹皮布に小川さんが「奇跡」という文字を書き、新たな共同作品が完成しました。



▲小川さん(写真左)とロビンさん(写真右)

ロビンさんは、かつてキリバス共和国に移住し、現地だけでなく、周辺のフィジー共和国やトンガ王国などの作家とのコラボレーション作品を創作しています。オープニングで披露された「マシ」は、小川さんとの創作のため、フィジー共和国の友人たちの手によって作られ、ニュージーランドで色付けされたものでした。さまざまな人が関わり、作られた「マシ」を見た小川さんは、制作に関わった人々の思いとエネルギーを感じたそうです。

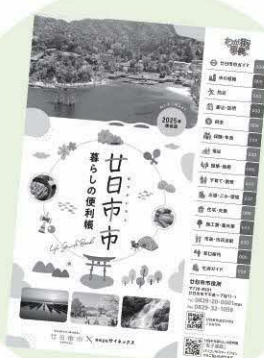
今回の共同作品には、ロビンさんをはじめ、多くの人に出会えたことが「奇跡」という思いが込められています。今後、マスタートンにあるアラトイ美術館でも展示される予定です。

8月には廿日市市の子どもたちがマスタートンを訪問する予定となっており、また新たな交流が生まれることを期待しています。



暮らしの 便利帳を 配布します

プロモーション戦略課 ☎09121



▲暮らしの便利帳イメージ

日常生活に役立つ暮らしの情報や地域情報を盛り込んだ「廿日市市暮らしの便利帳」をポスト投函などで市内全世帯に配布します。

配布期間が過ぎても届かない場合は、プロモーション戦略課まで連絡してください。

配布期間(予定)6月上旬～6月中旬



やすらぎ支援員養成研修

問い合わせ 廿日市高齢者ケアセンター ☎02552

認知症の人の住まいに、2人1組で訪問し、話し相手として本人や家族が安らぎのある時間を過ごせるよう手伝うボランティア「やすらぎ支援員」を養成する研修です。

※支援員には交通費などを支給します

- 対象** 全日程を受講できる人
- 定員** 15人程度（申し込み多数の場合、抽選）
- 申込方法** 廿日市高齢者ケアセンターまで電話で。
- 申込期限** 6月11日(水)



詳しくは、市ホームページを
確認してください▶



いきいき健康体操

問い合わせ 高齢介護課 ☎09167

廿日市市老人クラブ連合会廿日市支部では、誰でもできる簡単な健康体操を実施しています。

- とき** ①6月11日(水)②18日(水)各10時～11時30分
- ところ** 山崎本社 みんなのあいプラザ多目的ホール
- 対象** 市在住で65歳以上の人
- 定員** 各80人（先着順）

